

製品概要

- ◇種類名:アミカルバゾン水和剤
- ◇有効成分:アミカルバゾン・・・70%
- ◇化学名:4-アミノ-N-tert-ブチル-4,5-ジヒドロ-3-イソプロピル-5-オキソ-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド
- ◇物理的・化学的性状:淡褐色水和性細粒

農林水産省登録
第23852号

新規光合成阻害剤！ 防除困難な広葉雑草の対策に！！

アミカル[®]

顆粒水和剤

(包装: 250g×8 袋入り)

アミカルはアリスタライフサイエンス(株)の登録商標です。

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	アミカルバゾンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	一年生及び多年生広葉雑草	芝生育期 (雑草発生初期)	0.03~ 0.05 g/m ²	100~200 mL/m ²	6回以内	散布	6回以内
西洋芝 (パーミューダグラス)		春夏期芝生育期 (雑草発生初期)					

⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤は雑草の発生初期に有効なので、時期を失しないように均一に散布する。(効果)
- イネ科雑草には効果が劣るので、イネ科雑草が多い場合はこれに有効な土壌処理剤との組み合わせで使用。(効果)
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草木や花木、畑作物などに薬液がかからないようその付近での散布はさける。(薬害)
- 夏期高温時や芝の生育が劣っている場合は、黄変等の薬害を生じることがあるので十分注意する。(薬害)
- 散布に用いた器具類はよく水洗いして、他の用途に使用する時は、影響のないように注意する。(薬害)
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意。散布液調製時および散布時は保護メガネを着用し、薬剤が眼に入らないように注意。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。(刺激性)
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。
魚毒性等・・・使用残りの薬液が生じないように調製し、使いきる。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さない。
また空袋は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 保管・・・密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。



ヤハズソウ



ウラジロチチコグサ



オランダミナグサ



オオバコ



販売 **東洋グリーン株式会社**
東京都中央区日本橋人形町2丁目33番8号

製造販売 **株式会社 エスター・バイオテック**
東京都千代田区神田練堀町3番地

25.3.1000(MI)

特長

- ① 本剤は日本芝及び西洋芝(バーミューダグラス)における一年生広葉雑草及び多年生広葉雑草に対し、発生初期の処理で高い除草効果を示します。
- ② 本剤は根部、及び茎葉部より吸収され、ホルモン剤やSU系除草剤とは異なる作用機作を示し、SU系除草剤では効果が得にくい広葉雑草への効果に優れています。
- ③ 本剤は他の土壌処理剤との組み合わせにより、シナジストとしての役割を発揮し、殺草作用の相乗効果を得ることが期待できます。

(公財)日本植物調節剤研究協会委託試験(2011年~2020年)

試験機関:新中国グリーン研究所(春夏作) 芝種類:コウライシバ
処理日:2011年5月6日 調査日:2011年7月9日(処理後64日)

処理量(g/m ²)	0.03	0.04	0.05
ヤハズソウ	7	0	0
カタバミ	25	0	0
ヒメクグ	3.5	0	0

対無処理区比残草量(%)

試験機関:関西グリーン研究所(春夏作) 芝種類:ノシバ
処理日:2012年6月15日 調査日:2012年7月30日(処理後45日)

処理量(g/m ²)	0.03	0.04	0.05
ウラジロチチコグサ	6	3	2
チドメグサ	0	0	0
オオバコ	0	0	0

対無処理区比残草量(%)

試験機関:関西グリーン研究所(秋冬作) 芝種類:コウライシバ
処理日:2011年1月8日 調査日:2011年3月20日(処理後71日)

処理量(g/m ²)	0.03	0.04	0.05
オランダミミナグサ	0	0	0
ヒメオドリコソウ	0	0	0
カラスノエンドウ	14	8	5
ツメクサ	0	0	0

対無処理区比残草量(%)

試験機関:東日本グリーン研究所(秋冬作) 芝種類:ノシバ
処理日:2010年10月25日 調査日:2011年2月14日(処理後112日)

処理量(g/m ²)	0.03	0.04	0.05
オオイヌノフグリ	3.4	0	0
オランダミミナグサ	12.5	0	0
ヒメムカシヨモギ	0	0	0
セイヨウタンポポ	0	0	0

対無処理区比残草量(%)

試験機関:(一財)静岡県ゴルフ場協会(春夏作)
芝種類:バーミューダグラス(ティフトン419)
処理日:2020年5月13日 調査日:2020年7月23日(処理後71日)

処理量(g/m ²)	0.03	0.03	0.05
水量(ml/m ²)	100	200	100
ヤハズソウ	20	0	0
ウラジロチチコグサ	15	5	0
ヒメジョオン	0	0	0

対無処理区比残草量(%)

試験機関:植調福岡試験地(大牟田試験圃場)
芝種類:バーミューダグラス(美ら緑)
処理日:2020年4月9日 調査日:2020年6月18日(処理後70日)

処理量(g/m ²)	0.03	0.03	0.05
水量(ml/m ²)	100	200	100
オオアレチノギク	0	0	0
ヒメジョオン	0	0	0
セイトカアワダチソウ	0	0	0
カタバミ	0	0	0
ヒナスミレ	0	0	0

対無処理区比残草量(%)

殺草スペクトラム

●:極大 ◎:大 ○:中 △:小 ×:効果なし

雑草	効果
キク科	ウラジロチチコグサ ●
マメ科	ヤハズソウ ●
	シロツメクサ ◎
カタバミ科	カタバミ ●
オオバコ科	オオバコ ●

雑草	効果
ウコギ科	チドメグサ ●
シソ科	ヒメオドリコソウ ●
ナデシコ科	オランダミミナグサ ●
	ツメクサ ●
アブラナ科	タネツケバナ ◎

試験事例(社内)

春処理

処理日:2017年5月27日(雑草発生初期:ウラジロチチコグサ)
調査日:2017年7月13日 希釈水量:200ml/m²
品 種:コウライシバ



無処理 アミカル顆粒水和剤:0.03g/m²

SU剤が苦手とするチチコグサ系に効果を示した。コウライシバへの影響は見られなかった。

混用処理

処理日:2017年5月27日(雑草生育期:メヒシバ、ハナヤスリ)
調査日:2017年7月13日 希釈水量:200ml/m²
品 種:コウライシバ



無処理



A剤:0.5ml/m² A剤:0.5ml/m²+アミカル顆粒水和剤:0.03g/m²

A剤との混用により、相乗効果が見られメヒシバ、ハナヤスリへの効果を示した。コウライシバへの影響は見られなかった。
※ メヒシバは本剤の適用雑草ではありません。
※ 混用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。

秋処理

処理日:2016年10月1日(雑草発生初期:オランダミミナグサ)
調査日:2017年4月14日 希釈水量:200ml/m²
品 種:コウライシバ



無処理 アミカル顆粒水和剤:0.03g/m²

オランダミミナグサ、ウラジロチチコグサに効果を示した。コウライシバへの影響は見られなかった。

使用上の注意

萌芽期の処理は芝の萌芽を遅らせることがあります。特に萌芽のタイミングで気温が低下した時の処理は控えてください。